

## 平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	13	学校名	橿原高等学校
----	----	-----	--------

### 1. 取組名 「参画」～橿原高校の取組～

### 2. 活動内容

歴史に憩う橿原市博物館と協働で展覧会の企画を行った。4月当初に考古学研究部員が土器作りに挑戦することを決め、約9ヶ月間にわたってほぼ週2回のペースで博物館に通い、学芸員の方の助言と指導を受けて、試行錯誤しながら弥生土器の三形態である壺・甕・高坏を完成させた。そして、その取組の過程を1月から3月まで博物館で展示させてもらい、その間の3日間で部員が来館者に寸劇の形で説明している。その際には、子どもの来館者向けに「粘土ひものぼし」、「ミニ土器作り」コーナーを設けて、部員が担当した。（この取組の様子は新聞5社、奈良テレビ、NHKならナビで紹介された。）

### 3. 成果と課題

当初、土器についてほとんど何も知らなかった部員たちが土器作りを進めていくうちに、昔の人の知恵と工夫に気づき、その偉大さを認識することができた。また、この取組を行う中で、部員たちが主体的に話し合い、考えを出し合いながら進めていき、わからなくなったときに博物館の方に補助してもらおうという協働の営みの大切さを学べた。また、橿原市の関係職員や博物館学芸員はもとより、来館された地域住民や土器の製造方法を教わった保存会の方など、関わった多くの大人から様々なことを学び、自信を得られたことも大きな成果と考えている。説明の仕方についてはまだまだ拙い面があり、取組を通してこの点についても生徒の力を高めていきたい。

### 4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

今回の取組を通して、土器作りには数多くの作業があり、その1つでも不十分であると失敗することを思い知らされ、はるか昔の先人たちの知恵と努力をしっかりと学ぶことができた。来年度もテーマを変えながらこの取組を継続させていきたい。

